

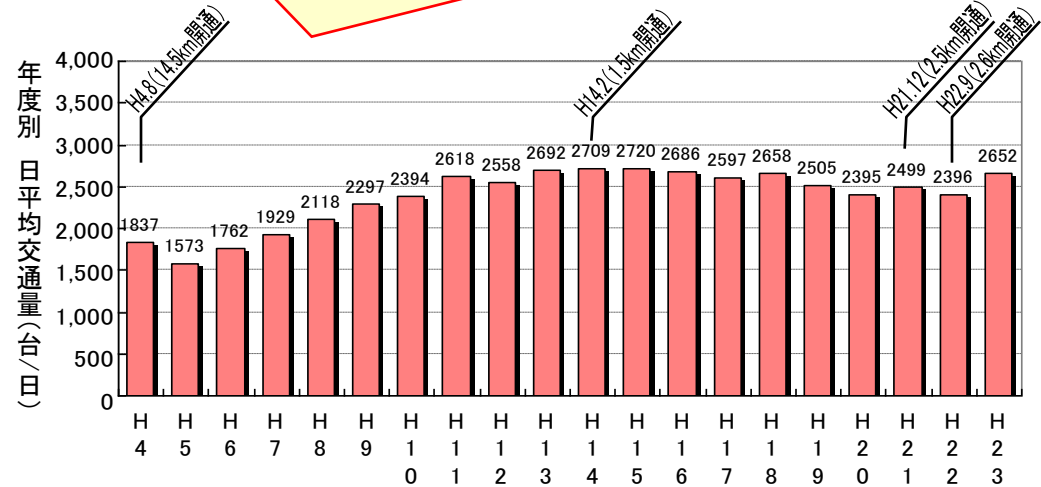
国道121号大峠道路の主な整備効果(1/4)

①. 大峠道路の利用状況と生活環境の変化

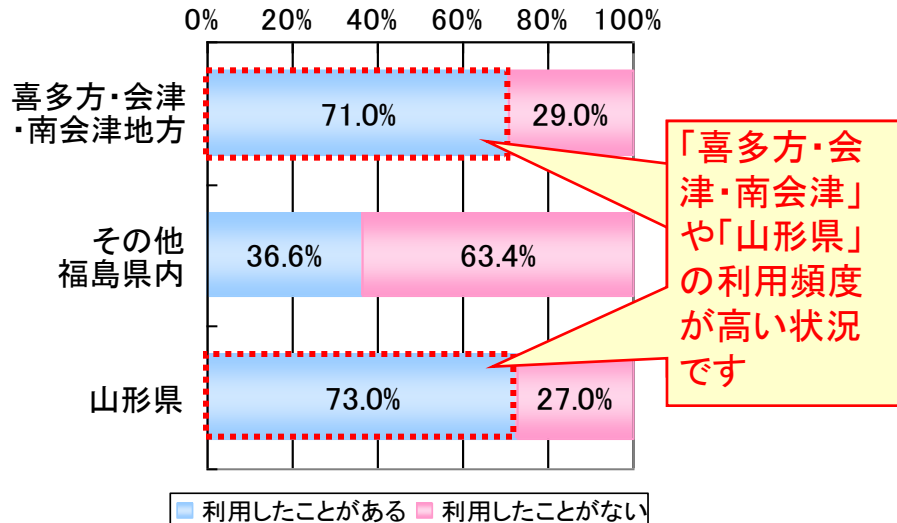


■大峠道路の交通量の変化

平成4年の一部開通から利用交通量は増加傾向です。

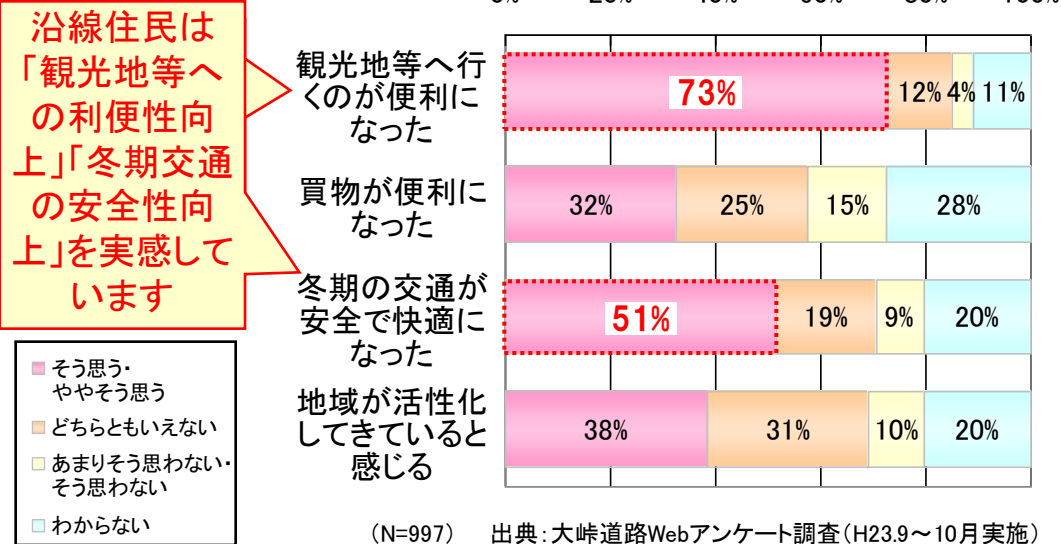


■大峠道路の利用状況 [アンケート結果]



(N=1,500) 出典：大峠道路Webアンケート調査(H23.9~10月実施)

■開通に伴う生活の変化(H4開通前に比べて) [アンケート結果]



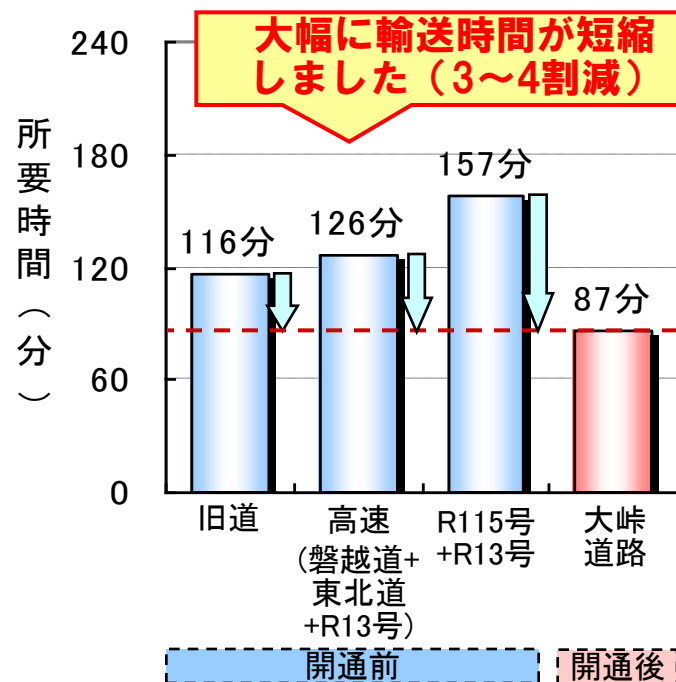
(N=997) 出典：大峠道路Webアンケート調査(H23.9~10月実施)

国道121号大峠道路の主な整備効果(2/4)

②. 輸送時間の短縮により物流などが効率化



■会津若松市～米沢市の所要時間の変化



出典:H22道路交通センサス



ジャストインタイムの納品が可能に!

(製造業者A社)

月に8便ほど発生するジャストインタイムの特急便が可能になりました。

- 輸送品目: 製造品
- 出荷量: 100~150t/年
- 出荷先: 山形県、岩手県など
- 開通前ルート: 国道13号利用



搬送コストが削減

(運送業者B社)

時間短縮に伴う人件費、距離短縮に伴う燃料コストが削減されました。

- 輸送品目: 味噌や漬物、酒
- 出荷量: 10t車両1往復/日
- 出荷先: 山形市
- 開通前ルート: 国道13号利用



営業エリアの拡大が期待される

(製造業C社)

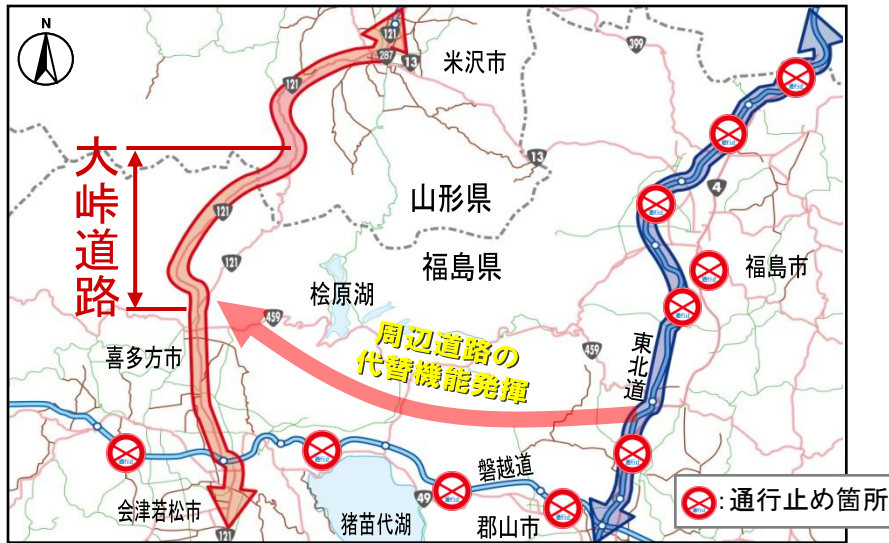
会津方面及び新潟方面の営業活動で利用する機会が多くなりそうです。

- 会社所在地: 山形県米沢市
- 製造品目: 合成樹脂原料製造

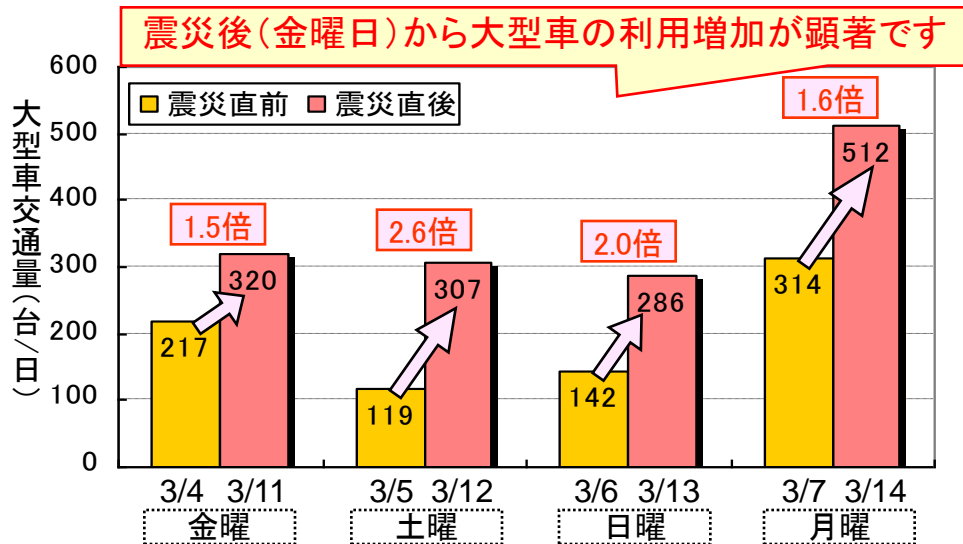
出典:H23沿線地域ヒアリング調査

③. 東日本大震災時に代替機能を発揮

■震災時の交通状況



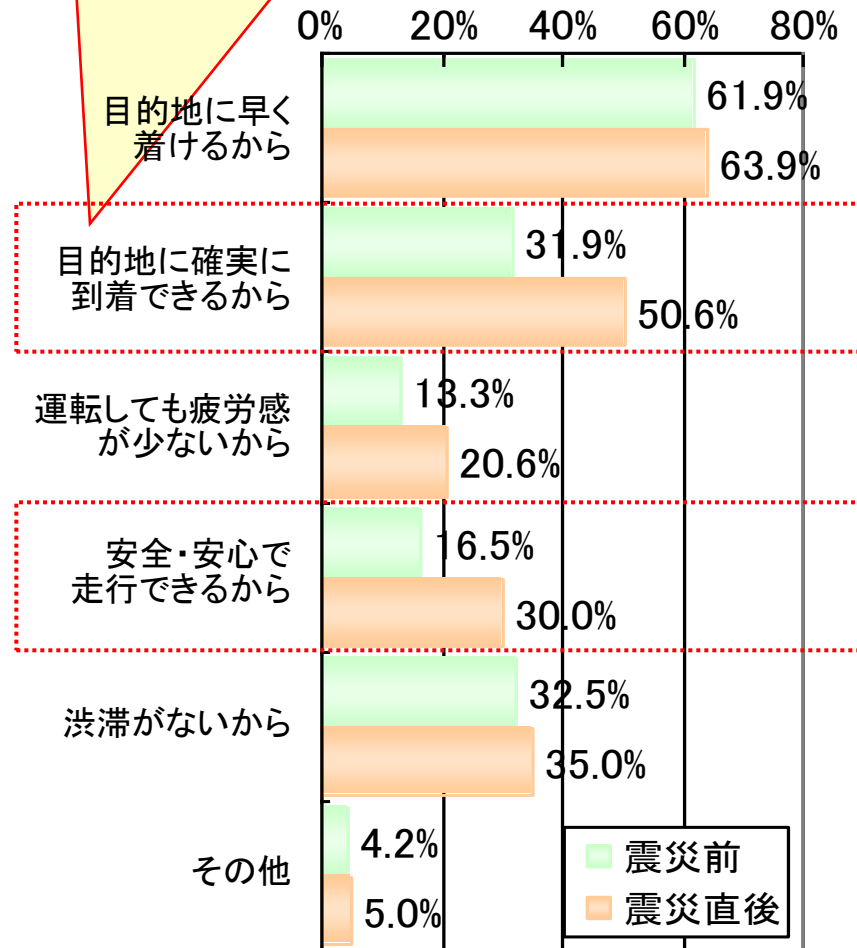
■震災前後の大峠道路の大型車交通量(H23.3)



出典: 常時観測交通量データ

■震災前・直後の大峠道路を利用した理由 [アンケート結果]

震災直後は「確実に到着できるから」「安全・安心に走行できる」などの理由が高くなっています。



(震災前 N=997)
(震災直後N=180)

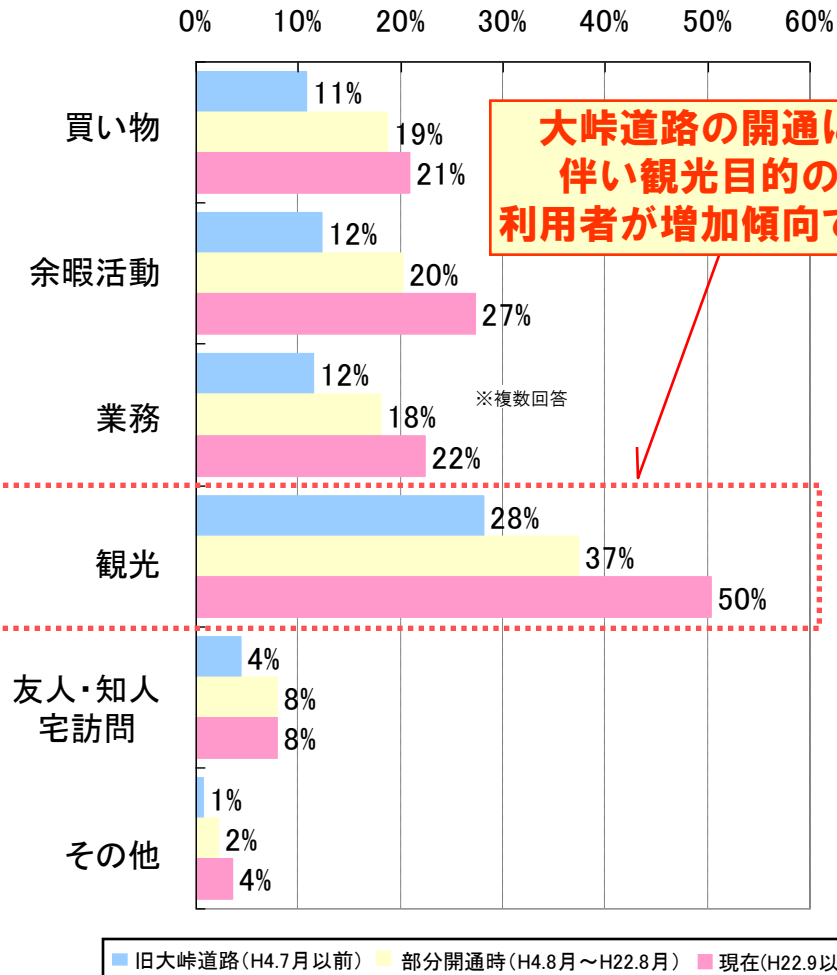
出典: 大峠道路Webアンケート調査(H23.9~10月実施)

国道121号大峠道路の主な整備効果(4/4)

④. 新たな観光交流の発生

■大峠道路の利用目的(利用者アンケート結果)

[平日及び休日利用者の集計値 (N=139)]



大峠道路の開通に伴い観光目的の利用者が増加傾向です

「喜多方市で山形方面から来る観光客が増加した」や「観光に関するお客様からの問い合わせが増加した」といった意見がありました



(喜多方ラーメンD店)

喜多方ラーメンで山形からのお客さまが増加

平成4年大峠道路の開通時は山形からのお客さまが増加しました。また、山形からの大型バスが増加し、山形でさくらんぼ狩りをしたお客様が夕方に喜多方ラーメンを食べるツアーが来るようになりました。



(喜多方市内集客施設E)

お客さまからの問い合わせが増加

大峠道路の開通に伴い、お客様から山形・宮城・蔵王方面や新潟方面、那須や甲子方面といった広域的な問い合わせが増えました。また、全線開通時には、まつりなどのイベントを同時開催しPRを行いました。

出典：H23沿線地域ヒアリング調査

⑤. 大峠道路への期待

地域づくり懇談会

会津地方は、東日本大震災の影響も少なく、安心して観光が楽しめる地域です。大峠の全面開通で利便性が高まり、観光客が増加すると期待します。

※複数回答 出典：大峠道路利用者アンケート調査(H23.2～3月実施)